

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
English Communication II	3	2年1類 A型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
****	<i>BIG DIPPER:</i> <i>English Communication II</i> (数研出版)	『必携 英単語 LEAP Basic』(数研出版) 『Listening Studio Progressive』(桐原書店)	

【科目の到達目標】(Purposes of the Course) 「天理学園英語教育ガイドライン」より

< Reading >

1. 英検準2級レベルの文章(300語程度の長文)を2分30秒ほどで読み、概要を理解することができる。
2. まとまりのある説明文を理解し、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。
3. 一般向けに書かれた説明文(チラシ・パンフレット等)、論説文、評論文を理解することができる。

< Listening >

1. 日常生活における情報および説明や、まとまりある内容を聞き取って理解できる。
2. あるトピックに関するスピーチや、日常会話の中でプレゼンテーションを聞き、その内容を理解することができる。
3. 相手の意見や説明を聞いて、理解することができる。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

本クラスの評価は、定期試験、小テスト、授業への参加姿勢、課題の提出等に基づいて総合的に算出する。もちろん定期考査の割合が最も大きいですが、普段行われる活動への参加姿勢も重要視する。

	月	学習単元 ・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Listening (Listening Studio Progressive= LSP)	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	BD: Lesson 1 Lesson 2	・ 主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ ネイティブスピーカーが読み上げた英文をディクテーションできる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語書き取る等の、単語レベルのディクテーション。
	5	LSP: Scene 1 Scene 2 Scene 3 Scene 4				
	6	中間考査 Midterm Examination				
	7	BD: Lesson 3 Lesson 4	・ 主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。 ・ 制限時間内に速やかに英文を読み、内容をおおまかに理解できる。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をおおまかに理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語書き取る等の、単語レベルのディクテーション。
		LSP: Scene 5 Scene 6 Scene 7 Scene 8				
		期末考査 First-term Examination				

	月	学習単元・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Listening (Listening Studio Progressive= LSP)					
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動				
二 学 期	9	BD: Lesson 5 Lesson 6	文章の流れを意識しながら英文を読める。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をより正確に理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語書き取る等の、単語レベルのディクテーション。				
	10	LSP: Scene 9 Scene 10 Scene 11 Scene 12								
	11	中間考査 Midterm Examination								
	12	BD: Lesson 7 Lesson 8					文章の流れを意識しながら英文を読める。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をより正確に理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語書き取る等の、単語レベルのディクテーション。
		LSP: Scene 13 Scene 14 Scene 15 Scene 16								
	期末考査 Second-term Examination									
三 学 期	1	BD: Lesson 9 Lesson 10	まとまりのある説明文を理解することや、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をより正確に理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。				
	2	LSP: Scene 17 Scene 18 Scene 19								
	3	Scene 20								
		学年末考査 Final Examination								

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

大学受験に向けて、高い意識で授業に臨むことを期待します。大学入学共通テストをはじめとする大学入試に対応できる英語力を養成するためには、多種多様な英語表現を習得する必要があります。さまざまな教材・媒体を通して一つでも多くの英語表現に出会い、自分のものにしてください。また、授業外では進研模試や全統模試などの模擬試験を積極的に受験し、その時点での各自の現在地を確認し、今後の具体的な課題を見つけられる機会を持つようにしましょう。

大学入学共通テストにおいては、リーディングとリスニングがそれぞれ100点ずつとなっており、以前と比べ、リスニング能力にも重きを置かれ始めています。そのため、本クラスでは、リーディングとリスニングのトレーニングを基本的に同じ割合で行います。それぞれの技能向上のために必要不可欠な語彙増強 (vocabulary building) を基礎とし、さまざまな英語表現のインプット、そして取り込んだもののアウトプットを行います。リスニングにおいても、聴解力を向上させるための発音練習や音読練習、シャドーイングといったトレーニングに取り組みます。また、リーディングの際には wpm 120～150 を目安として、短時間でまとまった文章を読み解く練習をします。これらの練習を積み重ね、リーディングリスニングを問わず多量の英文に臆することなく挑むことができるようになることを期待します。

英語力を向上させるためには、授業内という限られた時間内の学習だけでは限界があり、課外でどれだけ積極的に取り組むかがとても重要となってきます。そのため、皆さんには積極的かつ能動的な授業参加とともに、自宅や寮における英語学習時間の確保と、集中した自宅学習の実践を強く望みます。

	月	学習単元・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Listening (Listening Studio Progressive= LSP)					
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動				
二 学 期	9	BD: Lesson 5 Lesson 6	文章の流れを意識しながら英文を読める。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をより正確に理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語書き取る等の、単語レベルのディクテーション。				
	10	LSP: Scene 9 Scene 10 Scene 11 Scene 12								
	11	中間考査 Midterm Examination								
	12	BD: Lesson 7 Lesson 8					文章の流れを意識しながら英文を読める。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をより正確に理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語書き取る等の、単語レベルのディクテーション。
		LSP: Scene 13 Scene 14 Scene 15 Scene 16								
	期末考査 Second-term Examination									
三 学 期	1	BD: Lesson 9 Lesson 10	まとまりのある説明文を理解することや、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をより正確に理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。				
	2	LSP: Scene 17 Scene 18 Scene 19								
	3	Scene 20								
		学年末考査 Final Examination								

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

大学受験に向けて、高い意識で授業に臨むことを期待します。大学入学共通テストをはじめとする大学入試に対応できる英語力を養成するためには、多種多様な英語表現を習得する必要があります。さまざまな教材・媒体を通して一つでも多くの英語表現に出会い、自分のものにしてください。また、授業外では進研模試や全統模試などの模擬試験を積極的に受験し、その時点での各自の現在地を確認し、今後の具体的な課題を見つけられる機会を持つようにしましょう。

大学入学共通テストにおいては、リーディングとリスニングがそれぞれ100点ずつとなっており、以前と比べ、リスニング能力にも重きを置かれ始めています。そのため、本クラスでは、リーディングとリスニングのトレーニングを基本的に同じ割合で行います。それぞれの技能向上のために必要不可欠な語彙増強 (vocabulary building) を基礎とし、さまざまな英語表現のインプット、そして取り込んだもののアウトプットを行います。リスニングにおいても、聴解力を向上させるための発音練習や音読練習、シャドーイングといったトレーニングに取り組みます。また、リーディングの際には wpm 120～150 を目安として、短時間でまとまった文章を読み解く練習をします。これらの練習を積み重ね、リーディングリスニングを問わず多量の英文に臆することなく挑むことができるようになることを期待します。

英語力を向上させるためには、授業内という限られた時間内の学習だけでは限界があり、課外でどれだけ積極的に取り組むかがとても重要となってきます。そのため、皆さんには積極的かつ能動的な授業参加とともに、自宅や寮における英語学習時間の確保と、集中した自宅学習の実践を強く望みます。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
English Communication II	3	2年1類C型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
****	BIG DIPPER: English Communication II (数研出版)		『必携 英単語 LEAP Basic』(数研出版) 『Listening Studio Progressive』(桐原書店)

【科目の到達目標】(Purposes of the Course) 「天理学園英語教育ガイドライン」より

< Reading >

1. 英検準2級レベルの文章(300語程度の長文)を2分30秒ほどで読み、概要を理解することができる。
2. まとまりのある説明文を理解し、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。
3. 一般向けに書かれた説明文(チラシ・パンフレット等)、論説文、評論文を理解することができる。

< Listening >

1. 日常生活における情報および説明や、まとまりある内容を聞き取って理解できる。
2. あるトピックに関するスピーチや、日常会話の中でプレゼンテーションを聞き、その内容を理解することができる。
3. 相手の意見や説明を聞いて、理解することができる。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

本クラスの評価は、定期試験、小テスト、授業への参加姿勢、課題の提出等に基づいて総合的に算出する。もちろん定期考査の割合が最も大きい、普段行われる活動への参加姿勢も重要視する。

	月	学習単元 ・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Listening (Listening Studio Progressive= LSP)	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	BD: Lesson 1 Lesson 2	・ 主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ ネイティブスピーカーが読み上げた英文をディクテーションできる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語書き取る等の、単語レベルのディクテーション。
	5	LSP: Scene 1 Scene 2 Scene 3 Scene 4				
	6	中間考査 Midterm Examination				
	7	BD: Lesson 3 Lesson 4	・ 主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。 ・ 制限時間内に速やかに英文を読み、内容をおおまかに理解できる。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をおおまかに理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語書き取る等の、単語レベルのディクテーション。
		LSP: Scene 5 Scene 6 Scene 7 Scene 8				
		期末考査 First-term Examination				

	月	学習単元 ・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Listening (Listening Studio Progressive= LSP)					
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動				
二 学 期	9	BD: Lesson 5 Lesson 6	文章の流れを意識しながら英文を読める。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をより正確に理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語書き取る等の、単語レベルのディクテーション。				
	10	LSP: Scene 9 Scene 10 Scene 11 Scene 12								
	11	中間考査 Midterm Examination								
	12	BD: Lesson 7 Lesson 8					文章の流れを意識しながら英文を読める。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をより正確に理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語書き取る等の、単語レベルのディクテーション。
		LSP: Scene 13 Scene 14 Scene 15 Scene 16								
期末考査 Second-term Examination										
三 学 期	1	BD: Lesson 9 Lesson 10	まとまりのある説明文を理解することや、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。	・ 新出語彙確認 ・ 本文リスニング、リーディング ・ 解説 ・ 音読活動 ・ 内容確認テスト	・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ まとまった内容をより正確に理解できる。	・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・ 読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。				
	2	LSP: Scene 17 Scene 18 Scene 19								
	3	Scene 20								
	学年末考査 Final Examination									

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

大学受験に向けて、高い意識で授業に臨むことを期待します。大学入学共通テストをはじめとする大学入試に対応できる英語力を養成するためには、多種多様な英語表現を習得する必要があります。さまざまな教材・媒体を通して一つでも多くの英語表現に出会い、自分のものにしてください。また、授業外では進研模試や全統模試などの模擬試験を積極的に受験し、その時点での各自の現在地を確認し、今後の具体的な課題を見つけられる機会を持つようにしましょう。

大学入学共通テストにおいては、リーディングとリスニングがそれぞれ100点ずつとなっており、以前と比べ、リスニング能力にも重きを置かれ始めています。そのため、本クラスでは、リーディングとリスニングのトレーニングを基本的に同じ割合で行います。それぞれの技能向上のために必要不可欠な語彙増強 (vocabulary building) を基礎とし、さまざまな英語表現のインプット、そして取り込んだもののアウトプットを行います。リスニングにおいても、聴解力を向上させるための発音練習や音読練習、シャドーイングといったトレーニングに取り組みます。また、リーディングの際には wpm 120～150 を目安として、短時間でまとまった文章を読み解く練習をします。これらの練習を積み重ね、リーディングリスニングを問わず多量の英文に臆することなく挑むことができるようになることを期待します。

英語力を向上させるためには、授業内という限られた時間内の学習だけでは限界があり、課外でどれだけ積極的に取り組むかがとても重要となってきます。そのため、皆さんには積極的かつ能動的な授業参加とともに、自宅や寮における英語学習時間の確保と、集中した自宅学習の実践を強く望みます。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語コミュニケーション I	4	2年・2類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
****	BLUE MARBLE (数研出版)	ユメタン1,2 (アルク) BLUE MARBLE ワークブック	

科目の到達目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。
--

評価の観点と方法について 定期考査70%以上。平常点としては、単語・構文の小テストの点数、音読や暗唱の確認テスト、授業中の態度を考慮して30%以内とする。

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	Lesson1 Leadership in Modern Times	input した英文を intake することを目指す。内容を理解した英文をしっかりと暗記していくことで、	授業中は T/F、part 内の重要構文を中心に解説を進める。その後音読練習で本文の暗記を目指す。	リスニングの試験において大切なことは、その音を聞いて、瞬時にその単語の意味を理解できるということである。まずはユメタン0を用いて、基礎的な単語を通して、リスニングの基礎を養成する。	英語の音に慣れることを目指し、単語から短い文のディクテーションを目指す。まずはユメタン0を用いて、毎時間100語ずつクイックレスポンスを行う。
	5	Lesson2 The Diversity of Traditional Houses 中間テスト	output できる表現を増やしていく。			
	6	Lesson3 Improving Society with Avatar Robots				
	7	Lesson4 Approaches to Food Waste 期末テスト				

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	Lesson5 Animals as Indispensable Partners				
	10	Lesson6 An Irish Poet on a Mission				
		中間テスト				
	11	Lesson7 Be Free from Gender Bias				
	12	Lesson8 The Diminutive Giant Who Fought for Refugees				
		期末テスト				
三 学 期	1	Lesson9 Tackling Global Warming				
	2	Lesson10 Keys to Finding Happiness				
	3	学年末考査				

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

復習を大切にする。授業中に課された課題（ユメタンのクイックレスポンス、小テスト、本文音読・暗唱など）に取り組む。この1年間しっかり土台作りを頑張りましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語コミュニケーションⅡ	2	2年・3類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
****	BIG DIPPER English Communication I (数研出版)	必携英単語 Leap Basic (数研出版)	

科目の到達目標
【Reading】 簡単な説明文を理解することや、図や表から情報を得ることが出来る。
【Listening】 日常生活での話題や簡単な説明・指示を理解することが出来る。
【Writing】 興味関心のあることについて簡単な文章で書くことが出来る。
【Speaking】 興味関心のあることについて自分の考えを述べることが出来る。

評価の観点と方法について
定期考査 80%以上。 その他の平常点20%以内。
平常点は、授業態度、提出物、小テストなどを勘案するものとする。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	Lesson 3	○2つのタイプのリーダーシップについて考える	○受動態〈be 動詞＋過去分詞〉／関係代名詞 who・which・that／文型②〈SVOO〉〈SVOC〉	○単語を覚えているか【テスト】
	5				○内容理解できているか【発表】
	6	中間考査			○積極的に活動しているか【観察】
	7	Lesson 4	○新旧いろいろなスポーツの歴史と魅力を知る	○最上級〈the＋最上級〉／比較級〈比較級＋than〜〉／原級〈as＋原級＋as〜〉	○理解できているか【テスト】
		期末考査			○自分の意見を言えているか【観察・態度】
夏休み					○提出課題にしっかりと取り組んでいるか

	月	学習単元・項目	学習のねらい		評価のポイント
二 学 期	9	Lesson 5	○芸術の世界にまで進出する AI[人工知能]について考える	○名詞を修飾する分詞／形式主語<It is ～ that>／形式主語<It is ～ (for A) to do>	○単語を覚えているか【テスト】
	10	Lesson 6	○世界の人々の「幸福度」の違いについて知る	○過去完了<had＋過去分詞>／関係副詞 where／関係副詞 when	○内容理解できているか【発表】
		中間考査			○積極的に活動しているか【観察】
	11	Lesson 7	○人気の観光地が抱える問題について考える	○SVOC (V＝知覚動詞・使役動詞, C＝原形不定詞)／SVO＋to 不定詞／SVOC (V＝知覚動詞, C＝現在分詞)	○理解できているか【テスト】
	12	Lesson 8	○世界的な特殊メイクアップアーティスト Kazu Hiro について知る	○関係副詞 how／関係代名詞 what／関係副詞 why／強調構文<It is[was] ～ that>	○自分の意見を言えているか【観察・態度】
冬休み					
三 学 期	1	Lesson 9	○ゴミの再利用の新しい形「アップサイクル」について考える	○つなぎ表現／分詞構文①「～するとき」／間接疑問文／現在完了進行形<have [has] been ～ing>	○単語を覚えているか【テスト】
	2				○内容理解できているか【発表】
	3	Lesson 10 学年末考査	○日本の会社における雇用の多様性について考える	○仮定法過去／分詞構文②「～して, そして…」／過去の習慣 would／助動詞＋be＋過去分詞	○積極的に活動しているか【観察】
					○理解できているか【テスト】
					○自分の意見を言えているか【観察・態度】

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

日々の予習、復習を大切にしてください。

授業中に課された課題に、地道にコツコツと取り組んで下さい。

この1年間、ゆるぎない英語力を定着させるための土台づくりに励みましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理表現 I	2	2年3類	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
****	Vision Quest English Logic and Expression	プリントなど	

科目の到達目標 「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。

評価の観点と方法について ・習熟度を測ることはもちろん、生徒個々の努力も十分に評価する。 ・定期考査に加え、平常点を加味して評価する。 ・平常点は、宿題・提出物の内容、小テスト、学習態度等に基づいて算出する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	Lesson 1 文の種類	さまざまな疑問文、や命令文、感嘆文を適切に作りそれに応答することができる。	・各単元の文法事項の確認をし、でてきた表現を使い実際にペアワークをすることで、理解を深め、定着を図る。	集中して授業に参加しているか、意欲的に授業に参加しているかをチェックする。
	5	中間考査			各単元がどの程度理解できているかをチェックする。
		Lesson 3 時制	基本的な時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて書いたり話したりすることができる。	問題演習に取り組み、学習した内容の理解度を確認する。	宿題、課題の提出状況をチェックする。
	6	Lesson 4 完了形	現在・過去・未来完了形の概念を理解し、それぞれの用法を区別することができる。		
	7	期末考査			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	Lesson 2 文型と動詞	5つの文型と There is の構文を理解し、文を組み立てることができる。		
		Lesson 5 助動詞	助動詞のそれぞれの意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現することができる。		
	10	中間考査			
		Lesson 6 受動態	受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝えることができる。		
	11	Lesson 7 不定詞①	不定詞の様々な用法を学び、より詳細な情報を伝えることができる。		
	12	期末考査			
三 学 期	1	Lesson 7 不定詞②③	不定詞の様々な用法を学び、より詳細な情報を伝えることができる。		
	2	Lesson 8 動名詞	動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を使用した多様な文で伝えることができる。		
	3	学年末考査			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

英語を学ぶ上で基本となる文法事項を学び、そのうえで学んだことをアウトプットすることで、定着を図っていきます。英語は海外と自分をつなぐ「道具」であり、3類には、特に海外とのつながりを意識して積極的に学習してほしいです。授業後はしっかりと復習をし、わからないところをそのままにしないようにしましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理表現Ⅱ	3	2年Ⅰ類 A・B・C型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
****	Vision Quest English Logic and Expression I・II	Workbook I・II Vintage	

科目の到達目標	論理表現Ⅱでは英語4技能の内、Writing と Speaking を重点的に扱う。
Writing：	日常生活についてある程度まとまりのある文章を書くことができる
Speaking：	日常生活での出来事について説明することや、用件を伝えたりすることができる。
(各技能の Can・Do リストについては TSEEGs 到達目標表を参照)	

定期考査は8割以上、平常点は2割以下として総合判断する。平常点は、授業中の取り組み方、単元毎の小テストの成績、提出課題の内容等を総合的に判断して決定する。また、英語による表現活動として、授業中のペア・グループ等による活動や発表も評価に入れる。文法・語彙問題集の小テストを行い、その理解の程度も評価に入るので、しっかり取り組んでもらいたい。

	月	学習単元・項目	学習の目標	Writing / Speaking	評価のポイント
				・具体的な学習内容と方法	
一学期	4	Vision Quest ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION I Lesson 9	分詞②	分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現する。	(a) 授業中の活動・発表 (b) 課題の提出 (c) 小テスト (d) 定期考査 (e) 英語による作文
	5	Lesson 10 《中間考査》	関係詞①②	関係詞を用いてを作り、語句を限定したり補助説明を加えたりする。	
	6	Lesson 10	関係詞③	複合関係詞を用いて譲歩の意味を表す。	
	7	Lesson 11 《期末考査》	比較①②	比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態をわかりやすく説明する。	

	月	学習単元・項目	学習の目標	Writing / Speaking	評価のポイント
				具体的な学習内容と方法	
二 学 期	9	Lesson 12	仮定法①②	仮定法を用いて、事実と違うことや実際には起こりえないことを述べる。	
		Option 3	否定		
		Option 4	強調・無生物主語・ 名詞構文		
	10	《中間考査》			
		Option 5	話法		
		Option 6	前置詞		
		Option 7	群動詞		
	11	Option 8	疑問詞		
		Option 9	代名詞		
	12	《期末考査》			
三 学 期	1	Vison Quest ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION II			
		Lesson 1	適切な主語を用い る	・主語を選択する／名詞になる名詞句／形式主語 ・将来の夢や実現するための努力について、文と 文のつながりを意識して文章を書く。	
	2	Lesson 2	適切な動詞を用い る	・自動詞／他動詞／群動詞 ・留学生のために催したい学校行事について、自 分の考えや詳細を順序立てて説明する。	
	3	Lesson 3	時を表す	・現在を表す／過去を表す／未来を表す ・好きなスポーツ選手や彼らの達成について、具 体例や情報を加えて説明するパラグラフを書 く。	
		《学年末考査》			
その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など） 英語学習を楽しむコツは、できるだけ毎日英語にふれること・コツコツと努力を積み重ねることです。英語を学ぶ方法は教科書や参考書を使うだけではありません。英語で映画を見る・本を読むなど、様々な方法があります。授業で学んだことを実際に使って、学習の成果を体感しましょう。					

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理・表現 II	3	2年・2類・文型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
****	EARTHRISE (数研出版)	チャート式 EARTHRISE (数研出版) 33EARTHRISE 問題集 (数研出版) Jr. Effective (エスト出版)	

科目の到達目標 英語を理解するうえで必要不可欠な文法・語法の基礎をしっかりと身につける。

評価の観点と方法について 定期考査は70%以上、平常点は30%以下として評価する。 平常点は、小テスト、宿題・提出課題の内容、学習態度等に基づいて算出する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	Lesson31 否定 Lesson32,33 さまざまな表現	文法の土台作りに励む。	それぞれの項目の問題を解きながら、参考書やワークブックを用いて、基本事項を確認・復習する。 間違えた問題をチェックし、徹底して復習する。	各単元・項目がどれくらい理解できているかをチェックする。 授業に集中しているか、積極的に参加しているかをチェックする。 小テストの取り組みや宿題の提出状況をチェックする。
	5	接続詞 中間考査			
	6	接続詞 前置詞 名詞・冠詞			
	7	代名詞 期末考査			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	代名詞			
		形容詞			
		副詞			
	10	中間考査			
	11	入試問題を扱う問題集に移行			
	12	期末考査			
三 学 期	1	入試問題を扱う問題集の続き			
	2				
	3	学年末考査			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

大学入試問題の中で、正答率が50%の問題があったら、皆さんはどのように思いますか。2人に1人が解ける問題なので、何とか正解したいと思いませんか。実は、入試問題では、正答率50%の問題を落とさないことが非常に大切になってきます。実は、そのレベルの問題は高校1年生から2年生で学ぶ基本からの出題が多く、いかに土台作りが大切であるかということが見えてきます。地道な学習を粘り強く頑張っていきましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
論理・表現 II	2	2年・2類・理型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
****	EARTHRISE (数研出版)	チャート式 EARTHRISE (数研出版) 33EARTHRISE 問題集 (数研出版) Jr. Effective (エスト出版)	

科目の到達目標 英語を理解するうえで必要不可欠な文法・語法の基礎をしっかりと身につける。

評価の観点と方法について 定期考査は70%以上、平常点は30%以下として評価する。 平常点は、小テスト、宿題・提出課題の内容、学習態度等に基づいて算出する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	Lesson31 否定 Lesson32,33 さまざまな表現	文法の土台作りに励む。	それぞれの項目の問題を解きながら、参考書やワークブックを用いて、基本事項を確認・復習する。 間違えた問題をチェックし、徹底して復習する。	各単元・項目がどれくらい理解できているかをチェックする。 授業に集中しているか、積極的に参加しているかをチェックする。 小テストの取り組みや宿題の提出状況をチェックする。
	5	接続詞 中間考査			
	6	接続詞 前置詞 名詞・冠詞			
	7	代名詞 期末考査			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	代名詞			
		形容詞			
		副詞			
	10	中間考査			
	11	入試問題を扱う問題集に移行			
	12	期末考査			
三 学 期	1	入試問題を扱う問題集の続き			
	2				
	3	学年末考査			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

大学入試問題の中で、正答率が50%の問題があったら、皆さんはどのように思いますか。2人に1人が解ける問題なので、何とか正解したいと思いませんか。実は、入試問題では、正答率50%の問題を落とさないことが非常に大切になってきます。実は、そのレベルの問題は高校1年生から2年生で学ぶ基本からの出題が多く、いかに土台作りが大切であるかということが見えてきます。地道な学習を粘り強く頑張ってください。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語演習	2	2年I類C型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
****	特に指定しない	英語のハンドアウト・視聴覚教材・音楽など	

【科目の到達目標】 (Course Objectives)
本科目はC型英語コース専門科目として開講される。年間を通して、英語のコミュニケーション能力の向上に重点を置き、主にリスニングの理解力とスピーキングの上達、英語での自己表現ができることを目的とする。プレゼンテーション、ディスカッション、スピーチの発表、ペア・グループワークなどの様々なアクティブラーニング活動を通して、英語でコミュニケーションをとれる自信をつけて、より良い英語の話し手、聞き手になるための動機付けをする。又、アメリカのさまざまな文化学習と文化体験をし、異文化に対しての知識と体感できる行事を行う。授業内だけではなく、日常生活の中でも積極的に英語を使い、自分の思ったこと、感じていることを自然に英語で表現できるようになる努力を望む。

【評価の観点と方法について】 (Grading Procedure)
本科目の評価は、定期考査の成績、小テスト、各種プレゼンテーション、スピーチ発表、授業への参加姿勢、課題の提出等に基づいて行う。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を最重視する。

	月	ねらい	具体的な目標および学習内容・方法			評価・留意点
			Interaction	Production	語学・文化の知識	
一 学 期	4	・ネイティブの日常的な英語を聞いて理解できる。 ・正しい発音、イントネーションで話す。 ・思っていることを簡単に英語で表現できる。	・音読練習 ・ペアワーク ・グループワーク	・音読練習 ・フォニックス ・ディクテーション ・曜日・月など ・時間の読み方	・日常生活に関する英語学習 ・アメリカの文化学習(イースター)	・積極的に英語を使っているか。 ・覚えた英文を使いこなせているか。 ・英文を暗唱できているか。
	5					
	中間考査 Midterm Examination					
	6	・ネイティブの日常的な英語を聞いて理解できる。 ・正しい発音、イントネーションで話す。 ・思っていることを簡単に英語で表現できる。	・音読練習 ・一分間スピーチ発表 ・ペアワーク ・グループワーク	・音読練習 ・フォニックス ・一分間スピーチ ・ディクテーション ・家族構成 ・数字の読み方	・英語コース合同英語発表会。 ・日常生活に関する英語学習 ・ケンタッキー州の大学生との交流会	・積極的に英語を使っているか。 ・覚えた英文を使いこなせているか。 ・英文を暗唱できているか。
	7		<2,3年生C型合同英語発表会>			
			期末考査 Semester Examination			

	月	ねらい	具体的な学習内容・方法			評価・留意点
			Interaction	Production	語学・文化の知識	
二 学 期	9	・ネイティブの日常的な英語を聞いて理解できる。 ・正しい発音、イントネーションで話す。 ・思っていることを簡単に英語で表現できる。	・音読練習 ・一分間スピーチ発表 ・音読練習 ・暗 唱 ＜Skit＞ ・ジェスチャー	・音読練習 ・一分間スピーチ ・ディクテーション ・天理教用語 ・にをいがけ練習	・日常生活に関する英語学習 ・外国の文化に関する英語 ・アメリカの文化学習・体験（ハロウィーン）	・積極的に英語を使っているか。 ・覚えた英文を使いこなせているか。 ・英文を暗唱できているか。
	10					
	中間考査 Midterm Examination					
	11	・ネイティブの日常的な英語を聞いて理解できる。 ・正しい発音、イントネーションで話す。 ・思っていることを簡単に英語で表現できる。	・音読練習 ・一分間スピーチ発表 ・発表（暗唱） ・内容のアレンジ	・音読練習 ・一分間スピーチ ・ディクテーション ・天理教用語 ・神殿案内 ・スピーチ作成	・日常生活に関する英語学習 ・外国の文化に関する英語 ・アメリカの文化学習・体験（サンクスギビング）	・積極的に英語を使っているか ・覚えた英文を使いこなせているか ・英文を暗唱できているか
	12		＜2,3年生C型合同国際交流会＞			
	期末考査 Semester Examination					
三 学 期	1	・ネイティブの日常的な英語を聞いて理解できる。 ・正しい発音、イントネーションで話す。 ・思っていることを簡単に英語で表現できる。	・印象に残った出来事について、やりとりすることができる。 ・一分間スピーチ発表 ・発表（スピーチ） ・ペアワーク ・グループワーク ・即興会話練習	・音読練習 ・一分間スピーチ ・ディクテーション ・スピーチ発表 ・日本や日本の文化について紹介することができる（4分程度）	・日常生活に関する英語学習 ・教養英語	・積極的に英語を使っているか ・覚えた英文を使いこなせているか ・英文を暗唱できているか
	2					
	3					
	学年末考査 Final Examination					

【その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）】

英語は世界中の人とつながることができる「道具」の一つです。英語が話せるだけで自分の世界が一気に広がります。英語が話せるというだけで将来の選択肢が広がり、人生をより豊かなものにすることができると思います。この科目では、英語の四技能（Reading, Writing, Listening & Speaking）を、ペアワークやグループワーク、ディスカッション、発表などのアクティブラーニング形式を通して向上させていきます。また、アメリカの文化やアメリカで行う様々な伝統行事を学び、言語だけでなく文化的な側面から異文化理解を深めていきます。最初は英語ばかりで不安も多いと思いますが、1年後の自分は今の自分とは全く違うでしょう。